



|      |                     |
|------|---------------------|
| 取扱注意 |                     |
| 解禁   | テレビ・ラジオ・通信社・インターネット |
|      | 2月13日14時00分         |
|      | 新聞                  |
|      | 2月14日朝刊             |

平成30年2月9日  
教育委員会事務局  
教育課程推進室

## 「平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び 「平成29年度 横浜市立小中学校児童生徒体力・運動能力調査」の結果

市立小中学校、義務教育学校の全児童生徒を対象に、平成29年4月から7月に体力・運動能力調査を実施し、児童生徒の健康・体力に関する状況を分析・検討しました。本市児童生徒の健康や体力の現状を把握し、体力の向上と健康の保持増進に向けた今後の教育活動の改善に役立てます。

### 【調査の概要】

#### 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

子どもの体力向上に関わる施策の成果と課題の検証、改善、学校における体育、健康に関する指導の改善を目的に実施。

- 実施対象 ・市立小中学校の全小学校第5学年及び全中学校第2学年(義務教育学校第5学年及び第8学年)
- 調査内容 ・実技に関する調査(市体力・運動能力調査のデータを使用)  
・質問紙調査(全国独自調査)
- 標本数 ・小学校及び義務教育学校前期課程 約2万9千人(男子約1万5千人、女子約1万4千人)  
・中学校及び義務教育学校後期課程 約2万2千人(男子約1万1千人、女子約1万1千人)

#### 平成29年度 横浜市立小中学校児童生徒体力・運動能力調査

横浜市児童生徒の体格や運動能力及び生活実態の現状を明らかにし、学校体育指導及び学校体育行政上に必要な基礎資料とすることを目的に実施。

- 実施対象 ・市立小中学校及び義務教育学校全児童生徒
- 調査内容 ・体力・運動能力調査(新体力テストを実施)  
・生活実態調査
- 標本数 ・小学校及び義務教育学校前期課程 約14万8千人(男子約7万5千人、女子約7万3千人)  
・中学校及び義務教育学校後期課程 約6万1千人(男子約3万1千人、女子約3万人)  
※平成29年度より、中学校の調査結果も全数を対象に分析。

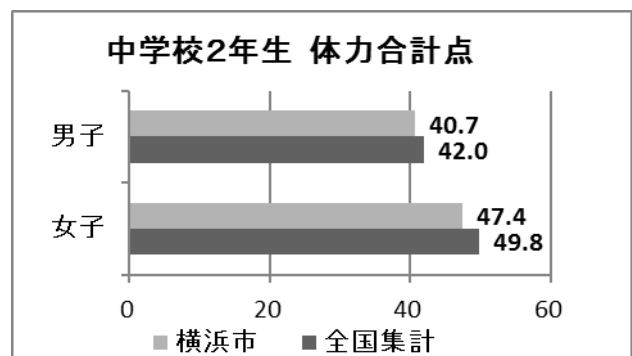
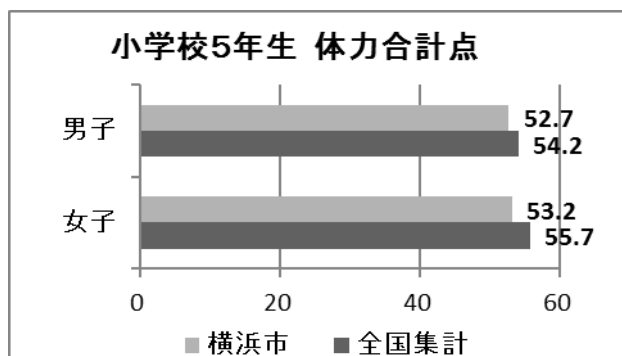
## 1 横浜市の児童生徒の体力の概況

### (1) 体力合計点

- ・体力合計点<sup>\*</sup>を全国と比べると、全国平均より下回っている。
  - ・体力合計点について、平成26年度からの推移を見ると、どの学年もほぼ横ばいである。
- ※体力合計点:新体力テストの各種目の測定値を種目別得点表(学校種、男女で異なる)にあてはめ、10段階で得点化し、合計した数値。

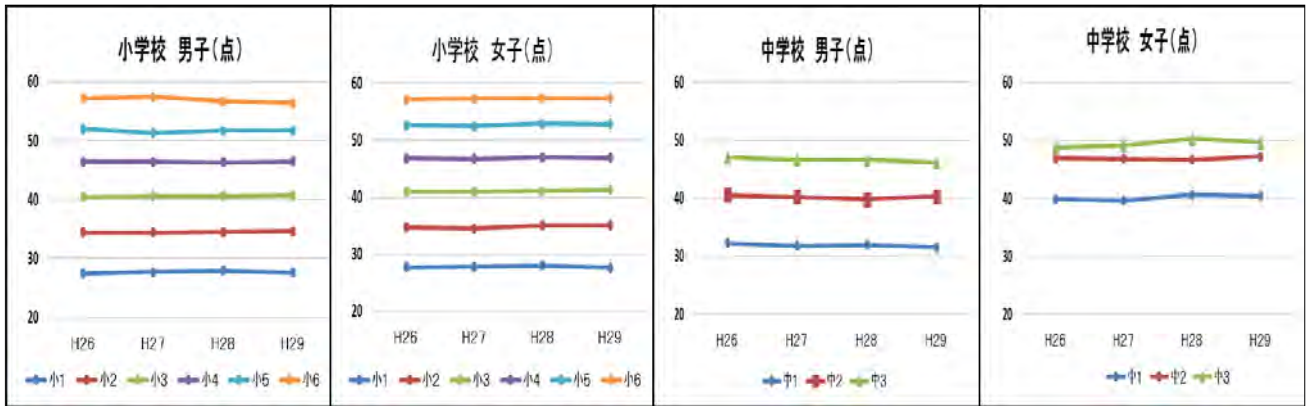
<グラフ1>体力合計点の全国との比較(点)

【全国調査から】



<グラフ2> 体力合計点の推移(点)

【横浜市調査から】



(2) 種目ごとの調査

- ・実技調査の種目ごとに見ると、測定値は以下のとおりである。

<表1> 横浜市の実技調査の平均値と全国の平均値との比較

【全国調査から】

|             |     | 握力(kg) | 上体起こし(回) | 長座体前屈(cm) | 反復横とび(点) | 持久走(秒) | 20mシャトルラン(回) | 50m走(秒) | 立ち幅とび(cm) | ソフトボール投げ(m) |
|-------------|-----|--------|----------|-----------|----------|--------|--------------|---------|-----------|-------------|
| 小学校<br>5年男子 | 横浜市 | 16.35  | 19.72    | 32.62     | 39.00    | 388.82 | 86.95        | 9.37    | 149.22    | 21.93       |
|             | 全国  | 16.51  | 19.92    | 33.15     | 41.95    |        |              |         |           |             |
| 小学校<br>5年女子 | 横浜市 | 15.61  | 18.49    | 37.25     | 36.73    | 391.23 | 85.99        | 9.66    | 141.29    | 12.33       |
|             | 全国  | 16.12  | 18.81    | 37.43     | 40.06    |        |              |         |           |             |
| 中学校<br>2年男子 | 横浜市 | 28.10  | 27.06    | 40.99     | 50.80    | 293.14 | 58.22        | 8.01    | 191.11    | 20.16       |
|             | 全国  | 28.89  | 27.45    | 43.20     | 51.89    |        |              |         |           |             |
| 中学校<br>2年女子 | 横浜市 | 23.13  | 23.15    | 43.17     | 45.62    | 287.36 | 59.14        | 8.83    | 164.65    | 12.05       |
|             | 全国  | 23.82  | 23.73    | 45.86     | 46.76    |        |              |         |           |             |

(3) 体格

- ・身長、体重ともに、全国平均と比べると、ほぼ同程度である。

<表2> 児童生徒の体格

【横浜市調査から】

| 項目 |            | 小1      | 小2     | 小3     | 小4     | 小5     | 小6     | 中1     | 中2     | 中3     |        |
|----|------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男子 | 身長<br>(cm) | 横浜市 29年 | 116.73 | 122.59 | 128.42 | 133.76 | 139.17 | 145.32 | 152.74 | 159.92 | 165.38 |
|    |            | 全国 28年  | 116.39 | 122.59 | 128.46 | 133.57 | 138.65 | 145.05 | 153.39 | 160.17 | 165.00 |
|    | 体重<br>(kg) | 横浜市 29年 | 21.19  | 23.77  | 26.99  | 30.18  | 33.75  | 37.83  | 43.17  | 47.80  | 53.04  |
|    |            | 全国 28年  | 21.04  | 23.73  | 26.66  | 29.97  | 33.04  | 37.82  | 43.86  | 48.36  | 53.23  |
| 女子 | 身長<br>(cm) | 横浜市 29年 | 115.76 | 121.64 | 127.43 | 133.46 | 140.07 | 146.85 | 152.11 | 155.24 | 156.93 |
|    |            | 全国 28年  | 115.65 | 121.60 | 127.39 | 133.15 | 140.32 | 146.97 | 151.99 | 154.97 | 156.34 |
|    | 体重<br>(kg) | 横浜市 29年 | 20.73  | 23.26  | 26.17  | 29.47  | 33.42  | 38.25  | 42.84  | 46.06  | 49.01  |
|    |            | 全国 28年  | 20.65  | 23.26  | 25.91  | 29.11  | 33.95  | 38.86  | 43.37  | 46.63  | 49.11  |

○ : 全国平均を上回った項目

## 2 体力向上への取組から見た状況

本市では、子どもの体力向上を目指した推進計画である「体カアップ2020プラン」（平成22年策定、平成28年見直し）に基づき、「運動機会の確保」「生活習慣の改善」「教員の指導力向上」を基本方針として、取組を進めてきました。

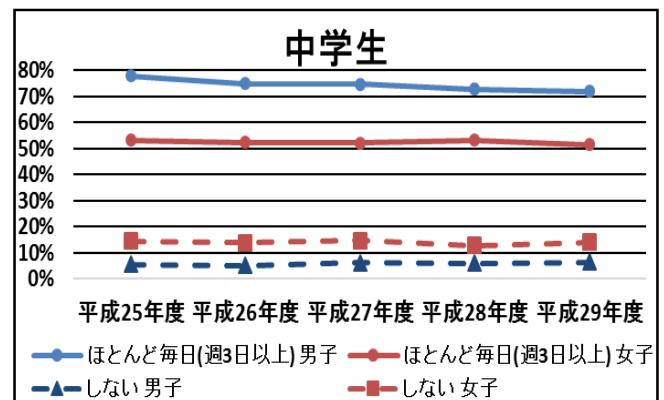
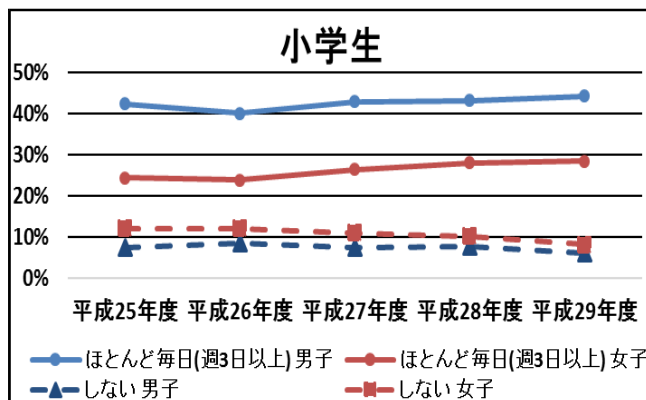
### (1) 「運動機会の確保」

#### ア 運動の実施状況

- ・小学校では、体育の授業以外で運動を「ほとんど毎日（週3日以上）」実施すると答えた児童の割合が増え、運動を「しない」と答えた児童が減っている。わずかであるが、運動機会が増えてきている。
- ・中学校では、保健体育の授業以外で運動を「ほとんど毎日（週3日以上）」実施すると答えた生徒の割合と運動を「しない」と答えた生徒の割合に大きな変化はないが、両者には二極化傾向が見られる。特に、女子は顕著である。

＜グラフ3＞運動を「ほとんど毎日(週3日以上)」実施する児童生徒と運動を「しない」児童生徒の推移

【横浜市調査から】



#### イ 各学校での体力向上への取組

- ・本市では、各学校の特色に応じた体力向上の取組として「1校1実践運動」\*を行っている。  
※「1校1実践運動」：各学校が作成している学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画である「体育・健康プラン」の一部。各校の特色を踏まえ、設定している体力向上への取組のこと。
- ・小学校で、始業前や休み時間等を使って体力向上への取組を実施している学校の割合は、全国よりも高く、90%を超える。
- ・中学校で、学校全体の体力・運動能力の目標を設定し、取り組んでいる学校の割合は、全国よりも高く、70%を超える。

＜表3＞ 体力向上への取組(%)

【全国調査から】

|                                   | 小学校  |      | 中学校  |      |
|-----------------------------------|------|------|------|------|
|                                   | 全国   | 横浜市  | 全国   | 横浜市  |
| 全学年に対する体育、保健体育の授業以外での体力向上への取組を行った | 88.0 | 91.2 | 47.2 | 42.3 |
| 学校全体の体力・運動能力向上の目標設定をした            | 68.4 | 59.9 | 60.8 | 76.5 |

＜表4＞ 体力向上への取組の実施場面(%)

【全国調査から】

|     | 始業前  |      | 中休み  |      | 昼休み  |      | 放課後  |      | その他  |      |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|     | 横浜市  | 全国   | 横浜市  | 全国   | 横浜市  | 全国   | 横浜市  | 全国   | 横浜市  | 全国   |
| 小学校 | 34.0 | 40.8 | 80.3 | 62.7 | 27.3 | 34.9 | 3.0  | 8.4  | 6.0  | 8.9  |
| 中学校 | 15.7 | 24.7 |      |      | 60.8 | 40.6 | 17.6 | 30.8 | 27.5 | 26.1 |

## (2) 「生活習慣の改善」

### ア 運動や健康に対する意識

- ・「運動は大切」「食事は大切」「睡眠は大切」と答えた児童生徒の割合は、小学生、中学生ともに全国に比べて高い。健康な生活への意識が高い。

＜表5＞「健康でいるため運動は大切だ」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 80.9     | 77.1     | 77.5     | 69.4     |
| 全国 29 年度  | 77.8     | 73.0     | 75.5     | 68.1     |
| 全国との差     | +3.1     | +4.1     | +2.0     | +1.3     |

＜表6＞「健康でいるため食事は大切だ」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 92.9     | 94.0     | 91.4     | 88.4     |
| 全国 29 年度  | 91.4     | 92.4     | 90.8     | 88.3     |
| 全国との差     | +1.5     | +1.6     | +0.6     | +0.1     |

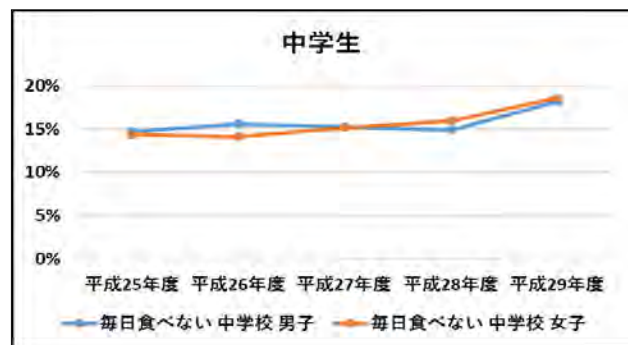
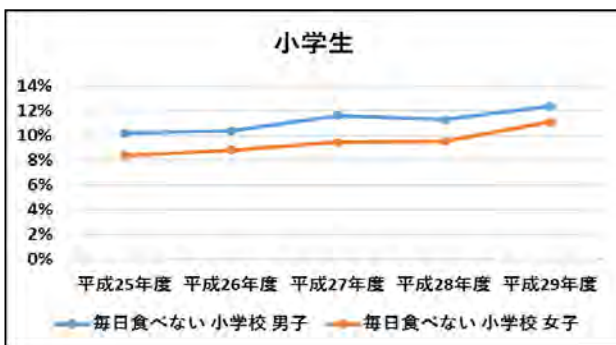
＜表7＞「健康でいるため睡眠は大切だ」と答えた児童生徒の割合(%) 【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 85.6     | 91.0     | 85.1     | 87.3     |
| 全国 29 年度  | 83.8     | 89.1     | 84.2     | 86.9     |
| 全国との差     | +1.8     | +1.9     | +0.9     | +0.4     |

### イ 児童生徒の生活状況

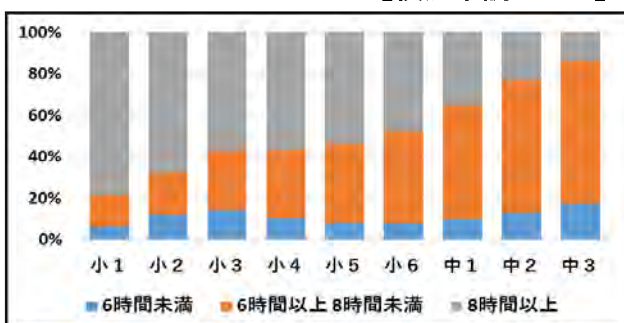
- ・朝食の摂取状況の推移を見ると、朝食を「時々食べない」「毎日食べない」と答えた児童生徒の割合は、ほぼ横ばいで、わずかながら、増加しており、改善が見られない。

＜グラフ4＞朝食を「毎日食べない」「時々食べない」児童生徒の割合の推移(%) 【横浜市調査から】

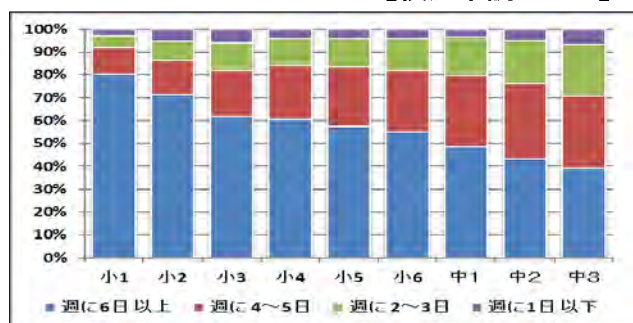


- ・睡眠時間は、学年が上がるにつれて、減っている。
- ・今年度から「ぐっすり眠る（よく眠る）ことができるか」という睡眠の質を問う調査を実施した。学年が上がるにつれて、「週6日以上」ぐっすり眠れると答えた児童生徒が減り、「週2～3日」「週4～5日」と答えた児童生徒が増えている。

＜グラフ5＞睡眠時間の割合 (%) 【横浜市調査から】

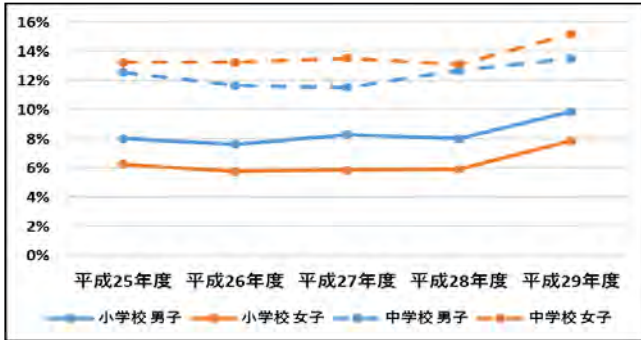


＜グラフ6＞「ぐっすり眠る(よく眠る)」頻度(%) 【横浜市調査から】

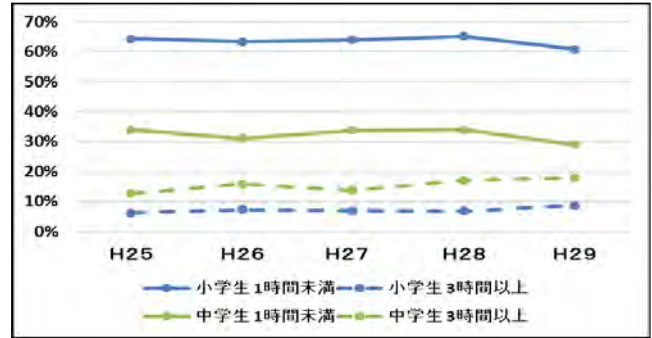


- ・睡眠時間が「6時間未満」の児童生徒の推移を見ると、ほぼ横ばいで、わずかながら、増加傾向が見られる。
- ・中学生のパソコン・携帯電話・ゲーム機の視聴時間は、「1時間未満」と答える児童生徒が減り、「3時間以上」と答える児童生徒の割合が、若干、増えている。

＜グラフ7＞睡眠時間が6時間未満の児童生徒の割合の推移(%)【横浜市調査から】



＜グラフ8＞パソコン、携帯電話、ゲーム機の視聴時間の割合(%)【横浜市調査から】



### (3) 児童生徒の意識から見る「教員の指導力向上」

#### ア 体育、保健体育の学習への児童生徒の意識

- ・体育、保健体育の授業については、「楽しい」「やや楽しい」と感じている児童生徒が、小学生で90%を超え、中学生も80%を超えている。
- ・「振り返り」、「話し合う活動」、「練習の場の選択」など、児童生徒が主体的に考え、仲間と話し合いながら、課題解決していく授業が行われていることが、調査から見て取れる。

＜表8＞体育、保健体育の授業を「楽しい」「やや楽しい」と答えた児童生徒の割合(%)【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 94.3     | 90.2     | 88.4     | 82.0     |
| 全国 29 年度  | 94.4     | 90.9     | 88.2     | 83.1     |
| 全国との差     | -0.1     | -0.7     | +0.2     | -1.1     |

＜表9＞授業の最後に学んだ内容を振り返る活動を「行っている」と答えた児童生徒の割合(%)【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 52.3     | 51.2     | 58.2     | 63.5     |
| 全国 29 年度  | 30.7     | 28.5     | 40.4     | 41.7     |
| 全国との差     | +21.6    | +22.7    | +17.8    | +21.8    |

＜表10＞友達同士やチームの中で話し合う活動を「行っている」と答えた児童生徒の割合(%)【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 58.8     | 54.9     | 45.4     | 43.5     |
| 全国 29 年度  | 50.2     | 45.7     | 45.0     | 43.0     |
| 全国との差     | +8.6     | +9.2     | +0.4     | +0.5     |

＜表11＞自分に合った練習や場を選んで活動を「行っている」と答えた児童生徒の割合(%)【全国調査から】

|           | 小学第5学年男子 | 小学第5学年女子 | 中学第2学年男子 | 中学第2学年女子 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 横浜市 29 年度 | 45.9     | 47.0     | 34.8     | 34.1     |
| 全国 29 年度  | 36.6     | 34.3     | 27.8     | 24.7     |
| 全国との差     | +9.3     | +12.7    | +7.0     | +9.4     |

### 3 まとめ

#### (1) 見えてきたこと

本市の児童生徒の体力は全国平均を下回っているが、運動や健康に対する意識は高い。

これまで、「運動機会の確保」「生活習慣の改善」「教員の指導力向上」の三つを基本方針として、体力向上に向けた取組を進めてきた。具体的には、各校で、児童生徒が主体的に考え、仲間と話し合いながら、課題解決していくような授業改善を図ってきている。しかし、朝食を食べない子、食や睡眠の状況などへの課題は見られる。

今後は、家庭との連携なども含めた、総合的な取組の工夫を通して、課題解決していくことが必要である。

#### (2) 今後の取組に向けて

児童生徒が、生涯にわたって主体的に体力の向上や健康の保持促進を図り、健康で創造的な生活を送るためには、運動機会の確保や運動習慣の定着により体力・運動能力を高めることはもとより、生活習慣の改善等に対する意識を向上させ、運動や健康に関する具体的な実践に結びつけていくことが大切である。

そのため、今後も「横浜市子どもの体力向上プログラム」に基づく取組の工夫・改善を図るとともに、家庭や地域と連携した生活習慣の改善、食育の推進など、いろいろな角度から体力・運動能力の向上を目指していく。

##### ○運動機会の確保

- ・各学校で計画的に体を動かす取組を行ったり、運動遊びを奨励したりするなどして、運動機会を確保していく。
- ・「する」だけでなく「知る」「見る」「支える」といった様々な角度から運動に親しめるような意識付けを行っていく。

##### ○生活習慣の改善

- ・運動や食、生活習慣に関わるデータの分析を多角的に進め、生活意識や生活習慣を改善するために活用していく。
- ・家庭や地域との連携を推進するために、ウェブページや学校便りなどを活用し、積極的に情報を発信し、課題の共有を図る。

##### ○教員の指導力向上

- ・調査結果をもとに作成した「体力分析チャート」を活用して、各校の「体育・健康プラン」を見直すとともに、体育科、保健体育科等において、9年間を見通した授業改善をすすめる。
- ・体力、運動能力調査の個票を活用し、児童生徒一人ひとりが自分の状況を確認し、主体的に体力・健康づくりに取り組めるよう意識の向上を図る。

お問合せ先

教育委員会事務局指導部教育課程推進室長 松原 雅俊 Tel 045-671-3723